子ども食堂を始めたいと思ったら・・・

子ども食堂とは？

子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂であり、子どもへの食事提供から孤食の解消や食育、さらには地域交流の場などの役割を果たしています。地域のボランティア団体や NPO などさまざまな運営のかたちがあり、食事や団らんを提供する場となっています。

子ども食堂の立ち上げに必要なポイント

ステップ 1　コンセプトを考えよう

自分の思いや考えを整理・確認してみましょう。また、メンバー同士でどんな内容の子ども食堂をやりたいかを話し合って活動の方向性を決めましょう。

ポイント

👉子ども食堂を見学しよう！
・実際に見てみることでイメージが具体的になり、準備すべきことが明確になります。
　※名古屋市内の子ども食堂一覧

ステップ 2　無理のない範囲で計画を立てよう

子どもの居場所となるには継続することが大切です。いつ、どこで、誰を対象に、いくらで、何人分の食事を提供するか具体的に計画を立ててみましょう。

日時	
開催頻度	
場所	
対象者	
定員規模	
参加費	

ステップ 3　必要なものを集めよう

子ども食堂の大まかな計画ができたら、資金、備品、食材など、必要なものを具体的に洗い出しましょう。購入するのか寄付を募るのか、誰がどのように調達するか、役割分担をしましょう。

ポイント

👉助成金や食材提供団体を調べる、確認しましょう！
・名古屋市の「名古屋市子ども食堂等運営補助金」、名古屋市社会福祉協議会の「子ども食堂開設助成金」のほか、民間団体による助成金制度が各種あります。

助成金情報はこちら

👉身近な資源に目をむけましょう！
・声をあげることで地元の企業・商店などから協力を得ている団体もあります。
　また、かたちが不揃いでも、家庭に眠っているものが活用できることがあります。

ステップ４　衛生面やケガ、食中毒などが起きた時の対応方法を考えよう

飲食を提供する子ども食堂にとって衛生管理は最も大事な要素です。事前に保健センターに相談し衛生管理に関する指導や助言を求めましょう。

また、万が一に備えて保険に入りましょう。

ポイント

👉食物アレルギーへの対応を検討しよう！

・食物アレルギーについて特別な対応を行わない場合は、事前にその旨を参加者に情報提供するようにしましょう。申込時にアレルギー有無のチェックをしているところもあります。

保険情報はこちら

👉保険に入ろう！

・レクリエーション保険やボランティア保険（活動保険・行事用保険）など

ステップ５　お知らせの方法を考えよう

チラシの配布先や問合せに対する対応を確認しましょう。

ポイント

👉活動をどのようにお知らせしますか？

（例）チラシ作成、SNS、ホームページの活用など

👉誰と協力して、どこにお知らせしますか？

（例）町内会や自治会の回覧板・掲示板、子どもの支援に関わる地域の方に依頼、小学校や学童保育、保育園でチラシの配布など

☆開設準備はいかかでしょうか？

子ども食堂のカタチ（開催方法）はいろいろで決まりがあるわけではありません。また、最初から満点の子ども食堂もありません。参加者やメンバーなどの声を聞き、試行錯誤を重ねながら、子どもたちをはじめ地域の信頼できる場所になっていくことが大切です。

子どもの居場所となるには継続することが大切です。「また来たい」と思ってもらえる子ども食堂をつくっていきましょう！

問合せ・相談先
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会　地域福祉推進部
TEL　052-911-3193
E-mail　chiiki01@nagoya-shakyo.or.jp